

平成 2 4 年 度

施政方針と予算の大綱

- 交流拠点都市の深化に向けて -

平成 2 4 年 2 月

島 田 市

平成24年度 施政方針

平成24年度当初予算案のご審議をいただくに当たりまして、所信の一端を申し上げます。

昨年、我が国は、東日本大震災という未曾有の大災害に見舞われました。惨憺たる状況を呈する被災地の復興、世界を震撼させた福島第1原発事故の収束、さらには、積み上げられた災害廃棄物の広域処理と、いずれの問題をとりにしても、依然として解決への道筋が見えない極めて深刻な現状にあります。

そして、こうした国難に直面し、被災地の方々に対して何を行うべきかを問う中で、私は、同じ日本人として、「痛みを分かち合うこと」や「人と地域の絆の大切さ」を改めて痛感した次第であります。

さて、昨年来、国内では、長期債務の累増による財政の危機が叫ばれる中、世界最速で進展する少子高齢化に備えて、社会保障と税の一体改革が検討されておりますが、将来の全体像が示される段階に至っておりません。一方、国外では、ギリシャに端を発したヨーロッパの財政危機や金融不安が表面化し、歴史的な円高と並ぶ景気低迷の外的要因として、その動向は当面予断を許さぬ状況にあります。

このように、我が国を取り巻く社会経済情勢は、光明の

見えない混沌の只中にあり、かつてない程、社会全体に閉塞感が広がっている感があります。しかしながら、私といたしましては、かかる困難な状況にあっても、決して怯むことなく、確固たる信念と忍耐力を持って、市政に邁進する決意を新たにしているところであります。

私は、旧川根町と合併して以来、新市の都市戦略として、「大井川を軸とした地域づくり」を提唱し、島田市総合計画に掲げる将来都市像、「人と産業・文化の交流拠点、水と緑の健康都市」の具現化に努めてまいりました。当年度につきましては、大井川流域における中心的な交流拠点都市としての施策の深化に努め、総合計画前期の仕上げの年にしてまいります。

まず、「大井川を軸とした地域づくり」にあたっては、大井川の恵みである水と緑、新東名高速道路島田金谷インターチェンジの供用や国道1号島田金谷バイパスの4車線化により更に高まる地の利、そして、他に誇りうる多彩な地域資源を活かしながら、分野を問わず組織横断的に交流施策を展開していくことが重要であります。また、こうした取り組みを進める中で、故郷を愛する市民の皆様の参画を得ながら、本市の魅力を地域内外に広く発信していくことが、本市の潜在的な力を引き出し、地域の活性化に繋がると考えております。

こうした意味で、当年度は、都市提携50周年を経た米国リッチモンド市をはじめとして、スイスブリエンツ町、中国湖州市、米国ハートフォード市との多様な都市間交流を促進するとともに、推進体制の整備と併せ、韓国東豆川市との都市提携に向けて交流の促進を図ってまいります。

また、平成25年度には、富士山静岡空港周辺を会場に、「世界茶まつり2013」の開催が予定されておりますが、これに先がけ大井川流域市町と連携したお茶の海外プロモーションの展開や、修学旅行生をターゲットとした中国からのインバウンドの促進に努めてまいります。加えて、台湾との定期路線就航により国際線に強い地方空港として今後が期待される富士山静岡空港であります。県の富士山静岡空港ティーガーデンシティ構想を念頭に置いて、真に、交流拠点となる周辺利活用策の具体化を図ってまいります。

次に、固有の地域資源を活かした地域内外の交流促進という意味で申し上げますと、金谷茶まつり、大井川大花火大会、SLフェスタ2012、さらには、しまだ大井川マラソン in リバティなど、本市ならではの多彩な事業を展開してまいります。併せて、野守の池につきましては、新たな水と緑のイルミネーション・スポットとして活用を図るとともに、川根温泉宿泊施設につきましては、平成

26年度の供用を目標に建設に着手してまいります。このほか、民間と連携した効果的な情報発信を図り、地域活性化の一助にしております。

さらに、本市にとっては地域づくりの新たなテーマであります、産学官の連携交流につきましては、地域医療の充実と障害者スポーツの振興を念頭に置いた大学誘致の実現を図るべく、必要な協議を継続するとともに、相互の交流事業も行っております。

このほか、まちなかの賑わい創出を目的に整備を進めております、中心市街地交流拠点施設につきましては、本年夏の供用開始に備えて事業の進捗に努めてまいります。また、新病院の建設であります、地域医療の増進と総合的なまちづくりの観点から、中心市街地への移転に向けて、計画の具体化を図っております。

いずれにしましても、これらは本市の将来に係る重要なテーマであり、その取組みの多くは緒についた段階にあります。私といたしましては、ひとつひとつの課題に粘り強く取り組み、その歩みを着実に積み重ねて、市勢の発展を成就していくことが、市民の皆様の付託に応える道であると確信しております。

平成 2 4 年度予算の大綱

平成 2 4 年度予算の大綱であります。本予算案は、総合計画基本計画に掲げられた事業の推進により、市民福祉の増進を目指すとともに、社会経済情勢の動向や国・県の施策・制度改正へ適切に対応し、あわせて、健全な財政運営に努めることを基調として策定しております。

さて、去る 1 2 月 2 4 日に国の平成 2 4 年度政府予算案が発表されました。

政府予算案は、「東日本大震災からの復興、経済分野のフロンティアの開拓、分厚い中間層の復活、農林漁業の再生、エネルギー・環境政策の再設計の 5 つの重点分野を中心に、日本再生に全力で取り組む。あわせて、地域主権改革を確実に推進するとともに、既存予算の不断の見直しを行う。」との基本方針により編成され、一般会計の規模は、前年度に比べ 2.2% 減の 9 0 兆 3, 3 3 9 億円となっています。また、平成 2 4 年度の我が国の経済については、「本格的な復興施策の集中的な推進によって、着実な需要の発現と雇用の創出が見込まれ、国内需要が成長を主導する。」との見通しを示しています。

また、地方財政全体の規模については、前年度に比べ 0.8% 減の 8 1 兆 8, 6 4 7 億円と見込んでいます。地方

財政全体の財源については、東日本大震災の復旧・復興事業等を除く通常収支分としては、平成24年度から26年度までの「国の中期財政フレーム」に基づき、平成23年度と同水準の一般財源総額を確保するとしています。

こうした動向を踏まえて編成いたしました本市の平成24年度予算案について、御説明いたします。

初めに、各会計の予算額を申し上げますと、一般会計は、351億9,300万円で、前年度の当初予算に比べ21億700万円、6.4%の増となっております。

特別会計8会計の合計は、194億5,588万7千円で、前年度に比べ13億3,655万4千円、7.4%の増となっております。水道事業及び病院事業の企業会計の合計は、支出ベースで151億5,506万円、前年度に比べ1億4,874万3千円、1.0%の増となっております。これにより各会計予算の総額は、前年度に比べ35億9,229万7千円、5.4%増の698億394万7千円となっております。

一般会計歳出予算の主な特徴であります。款別の事業費の比較では、3款の民生費が、障害福祉サービス費、介護保険事業繰出金、子どものための手当費などにより101億5,550万9千円と予算全体の約3割を占めております。事業費の伸びでは、8款土木費が、中心市街地

交流拠点施設整備事業、大草住宅建設事業、横井中央線整備事業のほか新たに着手する東町御請線整備事業などにより前年度に比べ18億530万2千円、50.0%の増となっております。

また、歳入予算につきましては、市税は、東日本大震災や景気低迷の影響、さらに平成24年度が固定資産税の評価替えの年度であることなどから、引き続き厳しい状況が懸念されるものの、扶養控除に係る税制改正による個人市民税の増などにより、前年度に比べ2億4,888万9千円、1.8%の増を見込んでおります。また、地方交付税につきましては、地方財政計画の推移などから、前年度当初予算額に比べ6,000万円、1.1%の増を見込んでおります。

社会保障関係経費や普通建設事業費の増に対する財源対応につきましては、財政調整基金の平成23年度新規積立額の約半分を充てるとともに、市債により対応することとしております。なお、市債につきましては、前年度に比べ12億7,630万円、43.6%増の42億490万円となっておりますが、地方財政措置の厚い臨時財政対策債、合併特例事業債、過疎・辺地対策事業債などに絞るとともに、基金の活用により市債残高増加の抑制に努めたところです。

なお、川根温泉宿泊施設整備事業の建築工事等に係る予算案につきましては、現在実施しております設計業務の進捗状況により、平成24年度に入ってから議会においてお諮りしたいと考えております。

特別会計予算及び企業会計予算につきましては、それぞれ事業に必要な所要額及び歳入を計上しております。

次に、島田市総合計画に掲げる施策の大綱に沿って、主要な事業について、御説明いたします。

1. 都市生活基盤が充実し、 ひとやもの、情報が活発に交流するまち

最初は、「都市生活基盤が充実し、ひとやもの、情報が活発に交流するまち」についての施策であります。

富士山静岡空港や東名高速道路に加え、本年4月には、新東名高速道路が開通し、島田金谷インターチェンジの供用開始により、本市は、まさに広域高速交通結節点としての要衝となります。さらなる地域振興へと結び付けていくため、多目的産業展示施設の誘致に向け、県の空港ティールーデンシティ構想に掲げられた「風の郷」の具体化を図ると共に、空港周辺地域の道路整備等を進めてまいります。

次に、都市生活基盤の形成についてであります。総合的な道路網の整備につきましては、横井中央線や谷口中河線などの幹線街路の整備に加え、新たに社会資本整備総合交付金事業として東町御請線の整備を進めるとともに、JR金谷駅のバリアフリー対策事業に取り組んでまいります。

次に、公共交通基盤の整備についてであります。市民の「生活の足」として定着しているコミュニティバスについては、バスの更新に合わせて中型の低床ノンステップバスを導入し、誰もが利用しやすい環境づくりを進めるとともに、引き続き路線全体の安全運行に努めてまいります。

次に、住環境の整備についてであります。本年度は、大草住宅第4期建設工事が完成し、計画しました4棟96戸の市営住宅整備が完了いたします。

また、中山間地の過疎対策としましては、定住促進住宅の建設に向けて、調査設計費を計上しております。

次に、整備を進めております中心市街地交流拠点施設につきましては、本年度に子育て支援施設「こども館」及び「新図書館」が開館することから、賑わいの創出、中心市街地の活性化の拠点としていきたいと考えております。

次に、住環境の改善及び向上につきましては、南原団地の浸水対策事業、新堀川改修事業などを実施してまいります。また、すぐやる課による道路・河川等の維持修繕など

の管理を進めてまいります。また、田代霊園につきましては、307区画の供用を開始いたしますので、使用料収入及び管理経費を計上しております。

次に、水道事業につきましては、主要地方道島田吉田線への配水管布設、本通り一丁目若松線などの配水管布設替えを行うとともに、稲荷浄水場耐震補強工事を引き続き実施してまいります。また、簡易水道事業においては、粟原の遠方監視システム整備、二俣のろ過装置更新、飲料水供給施設につきましては、塩本のろ過装置改良事業を行い、安定した飲料水の供給に努めてまいります。

次に、地域情報化につきましては、コミュニティFM放送を行政情報、地域の身近な生活情報、災害時の情報などの提供手段として活用するとともに、地域の魅力発信事業として、民間情報紙への行政広告の掲載や市ホームページのリニューアルなど、多様なメディアによる情報発信を推進してまいります。

また、金谷地区において光ファイバ網を整備する通信事業者へ助成を行い、高速情報通信基盤の整備を推進いたします。

2. 市民が安全・安心に暮らせるまち

次は、「市民が安全・安心に暮らせるまち」についての

施策であります。

まず、消防・救急体制につきましては、島田市消防本部の通信指令システム整備を行います。また、静岡地域消防救急広域化につきましては、平成28年度からの実現に向け、消防救急デジタル無線基地局整備の実施設計及び消防総合情報システム整備の基本設計を進めてまいります。このほか、初倉分遣所救急車、消防団ポンプ自動車の更新など地域の消防力や救急体制の充実強化を図ってまいります。

次に、防災対策につきましては、県の防災行政無線デジタル化に合わせ、本市の全域で使用できるデジタル防災通信システムを整備し、安定的な行政情報通信システムを確保してまいります。また、同報無線の難聴地域対策として、同報無線の内容や緊急情報を市民向けにメール配信するシステムを構築し、情報伝達手段を充実してまいります。

次に、水害、土砂災害対策につきましては、急傾斜地崩壊対策事業や治山事業を行うとともに、災害に備える体制づくりのために川根地区の洪水ハザードマップを作成いたします。

地震対策につきましては、JR東海道線の跨線橋である横井向島線及び火葬場線の耐震補強対策を実施するとともに、東日本大震災以降に申請件数が増加している木造住

宅の耐震補強工事等について助成を継続し、住宅の耐震化を促進してまいります。

3. 産業がいきいきと活発なまち

次は、「産業がいきいきと活発なまち」についての施策であります。

まず、工業の振興につきましては、谷口工業用地アクセス道路の整備を実施するとともに、進出企業の用地取得や新規雇用に対する助成を行い、雇用の創出に努めてまいります。

次に、商業・サービス産業の振興につきましては、にぎわい商店街支援事業補助金等の助成により団体の熱意とやる気を支援し、商店街のにぎわいづくりを促進してまいります。また、島田商工会議所及び島田市商工会の運営事業に対する助成により商工業の総合的な発展を目指してまいります。

次に、農林業の生産基盤整備につきましては、農道、用排水路の整備では、犬間農道、農道山中線の改良や山井用水路改修事業、空港隣接地域農業振興事業の堂ヶ谷農道などの改良事業を実施してまいります。林道整備では、福用線、白山線の開設、葛籠線の改良を行うとともに、鍋島犬間線、葛籠線の舗装を継続して実施してまいります。

次に、農業振興、農地保全につきましては、新たに「がんばる認定農業者支援事業」を創設し、認定農業者の経営改善を支援してまいります。また、中山間地域等直接支払制度の活用を推進するなど、中山間地の農業を支援してまいります。

次に、林業の振興につきましては、良質な大井川流域産材を使用した住宅建築に対する助成、間伐を促進する間伐材搬出助成を行い、間伐材の有効活用及び林業の活性化に努めてまいります。

次に、基幹産業の茶業の振興につきましては、茶業振興協会への運営補助を通じて茶業振興に努めるとともに、茶の品質と生産性の向上のため茶改植事業を助成してまいります。また、茶消費拡大のため、しまだ大井川マラソン in リバティ等のイベントでのPRを継続してまいります。

次に、観光の振興につきましては、大井川とSLを基軸に、自然、景観、歴史、文化などの魅力を活かした観光資源を周辺地域でネットワーク化し、国内外からの観光交流人口の増加による市の活性化を目指してまいります。

次に、観光拠点の整備につきましては、川根温泉宿泊施設の用地取得などの経費を計上しております。また、イルミネーションや散策道など野守の池周辺整備を継続するとともに、子どもたちに人気の中央公園ミニ鉄道に、ミニ

SL車両に加え、4月下旬から新たにミニ新幹線車両を運行してまいります。

次に、観光交流事業につきましては、4月に金谷茶まつりを開催し、10月には「家族と地域の時間づくり推進事業」及び「SLフェスタ2012」を開催することとしており、本市の観光資源でありますSLによって広く島田市をアピールし、大井川流域における観光交流の促進とにぎわい創出による地域の活性化に努めてまいります。

また、大井川大花火大会、川根桜まつり、野守まつりなどへの助成や観光振興活動支援事業費補助金による諸団体への支援により、まちの元気の高揚に努めてまいります。

4. だれもが健やかで幸せに暮らせる健康・福祉のまち

次は、「だれもが健やかで幸せに暮らせる健康・福祉のまち」についての施策であります。

まず、子育て支援施設につきましては、新たに整備いたします中心市街地交流拠点施設に、子育て支援施設「こども館」を整備し、まちなかの活性化と子どもが健やかに育つ環境づくりを推進してまいります。また、新たに金谷小学校の敷地内に、金谷小学校区放課後児童クラブ施設を整備し、事業の充実を図ってまいります。

次に、次世代育成支援の推進につきましては、国の制度

改正に伴い「子どものための手当」を計上するほか、児童扶養手当、こども医療扶助費を計上しております。また、不妊治療費全額公費助成のほか、保育ママ事業、育児サポーター派遣事業などの各種子育て支援策を継続して実施してまいります。このほか、保育園における地域子育て支援センター事業、民間保育所助成事業、放課後児童クラブ運営事業、長期休暇児童クラブ運営事業を継続して行うなど、子どもを安心して生み育てることができる環境の充実に努めてまいります。

また、金谷中央保育園の民営化事業につきましては、本年度から、移管先法人による運営に移行するとともに、保育園施設の引き渡しに向けて、必要な改修工事を行ってまいります。

次に、高齢者福祉につきましては、生きがい活動支援事業、高齢者の相談支援やひとり暮らし高齢者への緊急通報支援など、高齢者の状況やニーズに応じたきめ細かなサービスの提供に努めてまいります。

次に、障害者福祉につきましては、国の関係法令の整備に合わせ、本年度中に平成25年度から29年度までの障害者計画を策定するとともに、障害のある人の地域社会における生活及び就労の支援、入所施設での支援、自立に向けた相談支援事業等を引き続き行ってまいります。また、

重度障害者への医療費助成、訪問介護サービス等を継続実施するなど、障害のある人の生活環境に対する支援を行ってまいります。

次に、心身障害児福祉につきましては、こども発達支援センターにおいて、子どものあらゆる相談、気になる子どもの早期発見・早期療育と、子育てに不安を持つ保護者への支援を行ってまいります。また、障害児放課後児童クラブについても引き続き運営してまいります。

次に、健康づくりの推進につきましては、乳児健診や妊婦健診等の母子保健、働く世代への大腸がん検診事業等の各種がん検診を実施するなど、乳児から高齢者までを対象に幅広く健康施策の実施に努めてまいります。また、子宮頸がん、ヒブ及び小児用肺炎球菌予防ワクチン接種に対する助成を継続するなど、元気な市民、元気なまちづくりを進めてまいります。

次に、国民健康保険事業につきましては、被保険者が安心して医療が受けられるよう健全な事業運営に努めております。しかしながら、高齢化社会の進行に伴う受診機会の増加、医療技術の高度化などにより、医療費は増加を続けております。一方、長引く景気の低迷により、国民健康保険税収入は減少し、事業運営は深刻な状況となっており、本年度は、保険税の増額をお願いするとともに、特定検

診・特定保健指導等の実施や保険税の収納率の向上に努め、安定的な運営を目指してまいります。

次に、介護保険事業につきましては、新たに策定いたしました第5期介護保険事業計画に基づき、所要の事業費を計上しております。また、初倉地域総合センターに設置しております初倉・六合中学校区地域包括支援センターにつきましては、それぞれ独立したセンターへと移行し、支援サービスを充実させてまいります。

次に、重点施策である地域医療の充実であります。市民病院につきましては、大井川流域の基幹病院として、質の高い医療サービスの提供が求められております。安定した診療体制を構築するには、医師及び看護師等の確保と定着が不可欠でありますので、その対策に努めてまいります。

また、現在の厳しい経営環境の中で経営の健全化が何より重要な課題であると認識しております。地方公営企業として、経営収支の一層の改善に向け最大限の努力を行ってまいります。

5．自然と共生する資源循環型のまち

次は、「自然と共生する資源循環型のまち」についての施策であります。

まず、環境への負荷を低減させるまちづくりの推進につ

きましては、新たな環境基本計画を策定し、市民・事業者・行政が一体となって推進してまいります。また、地球温暖化防止に資するため、住宅用太陽光発電システムの設置に対し助成を行ってまいります。

次に、循環型社会の推進につきましては、一般廃棄物の処理について、田代環境プラザでの適正かつ効率的な運営に努めるとともに、ごみ減量と資源化の一層の推進に引き続き取り組んでまいります。

また、生活排水による公共水域の汚濁を防止するため、向島町や中河町、大津通地内の公共下水道の整備を進めるとともに、その他の公共下水道認可区域外においては、合併処理浄化槽の設置者に対し助成を行ってまいります。

6 . 人を育て、歴史を大切に新しい文化を創造するまち

次は、「人を育て、歴史を大切に新しい文化を創造するまち」についての施策であります。

まず、学校教育の充実につきましては、豊かな心、確かな学力、健康な体を身につけた子どもの育成を目指し、とりわけ「心を育てること」を基本方針としております。児童生徒の心の教育を推進し、個に応じた指導の一層の充実を図るため、心の教育支援員・学習指導支援員・特別支援教育支援員を配置するとともに、不登校の児童生徒に対応

するため、スクールソーシャルワーカーや小学校5、6年生の外国語活動の支援員を引き続き配置してまいります。

次に、学校教育施設の整備につきましては、老朽化が進む川根小学校の改築に向けた耐力度調査及び学校給食共同調理場の建設のため実施設計業務を実施してまいります。また、五和幼稚園の民営化事業として、老朽化した幼稚園バスの更新等を実施してまいります。

次に、生涯学習の充実につきましては、しまだ楽習センター、六合公民館、初倉公民館、金谷公民館及び川根地区センター等において、多様な学習機会の提供に努めてまいります。また、中心市街地交流拠点施設に整備いたします新図書館につきましては、図書等の移転及び新たな貸出システム導入などの準備を進め、いよいよ本年度開館いたします。

次に、スポーツの振興につきましては、総合スポーツセンターをはじめ、大井川河川敷の運動施設などの有効活用により、利用者ニーズに沿った満足度の高いサービスの提供に努めるとともに、各種の競技大会の開催やスポーツ合宿の誘致を促進してまいります。施設整備では、一層のスポーツ振興及び地域活性化を図るため、田代の郷陸上競技場整備工事のほか、川越広場の一部をグラウンドゴルフ利用者などの駐車場として整備してまいります。また、しま

だ大井川マラソン in リバティにつきましては、全国に発信する交流・スポーツイベントとして、10月に実施してまいります。

次に、文化の振興につきましては、島田市博物館が開館20周年を迎えることから、特別展及び企画展の開催を計画しております。また、お茶の郷につきましては、茶文化情報の発信等の機能強化を図るため、施設改修に向けた実施設計等を行ってまいります。

歴史資源の保存と活用につきましては、国指定史跡の諏訪原城跡について、整備基本計画に基づき整備を進めてまいります。

7. 市民と行政がともに創る、活力に満ちたまち

最後は、「市民と行政がともに創る、活力に満ちたまち」についての施策であります。

まず、地域内外の交流の促進につきましては、施政方針でも申し上げましたように、本年度は、中国湖州市との都市提携25周年記念事業を実施するとともに、50周年記念事業としてリッチモンド市への友好親善訪問、韓国東豆川市との交流増進など、都市間交流の促進に取り組んでまいります。また、10月5日から8日にかけて開催します「家族と地域の時間づくり推進事業」と「SLフェスタ

2012年10月28日の「しまだ大井川マラソン in リバティ」など、本市独自の多彩な地域資源を活かし、国内外に住民相互の友好交流の和をさらに広めることにより、地域活性化に努めてまいります。

次に、市民参加・地域主体のまちづくりにつきましては、自治会や地域コミュニティ活動の支援を行うとともに、住民主体の地域づくり活動を支援するため、まちづくり支援事業交付金の活用を図ってまいります。このように、今後におきましても、市民や団体等と一体となって、活力に満ちたまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

次に、行財政運営についてであります。

まず、財政運営につきましては、経済や国の税財政制度の動向の把握に努めるとともに、財政健全化判断比率等の検証を通して、中長期的な視点から健全経営に努め、市民の満足度や利便性の向上、さらには元気なまちの創造に向け、市民本位の質の高い行政サービスの提供に取り組んでまいります。

また、行政運営に当たっては、島田市行政改革大綱及び行政改革実施計画に基づく事務事業の再編や効率的な事業推進のための組織改正を行うとともに、職員配置や定員管理につきましても、市民サービスの向上と行政コストの削減に向け、一層の改革に努めてまいります。

以上、平成24年度における施政方針並びに予算の大綱を申し上げました。

議員各位並びに市民各位におかれては、何とぞ御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。